

鐘 楼

伊勢崎市立北小学校学校運営協議会だより 第12号（本年度2号）

令和2年11月4日 伊勢崎市立北小学校学校運営協議会

北小学校ホームページアドレス：<http://www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/>

☆第3回の北小学校学校運営協議会が行われました

10月13日（火）、北小学校を会場に第3回の協議会が行われました。主に以下の2点について協議を行いました。

◎児童の安全意識の醸成（交通安全、自然災害、不審者対策など）を図るために、協議会としてできることはどんなことがあるか。

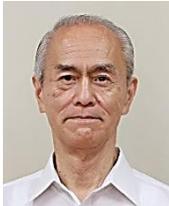
- ・「交通安全」「自然災害」「不審者対策」など、北小学校で指導されている内容を整理・統合したリーフレット（名称は今後検討）を作成し、各家庭用に配布する。
- ・リーフレットの中に、各家庭で話し合っ決めて「避難場所」「連絡方法」等を記入する箇所を設ける。
- ・リーフレットの中に、学校で指導・掲示されているイラストを入れたり、児童の描いた絵を入れたりし、分かりやすく親しみやすいものにしたらどうか。等々

◎来年度も、協議会として「いじめ防止カレンダー」を発行していく。

- ・北小学校と北第二小学校の児童の人権標語を入れ、両校の各家庭と北地区の毎戸に配布し、いじめ防止について啓発ができるようにする。
- ・本年度も4月スタートの年度カレンダーとし、北小学校、北第二小学校、第三中学校の主な年間行事も入れるようにする。等々

児童の安全意識の醸成に関するリーフレットについては本年度中に作成し、地域の方には回覧として見ていただけるようにしたいと思います。また、北小学校の児童の各家庭には1枚ずつ配布し、避難箇所や緊急の連絡先などについて話し合ってもらうことで、安全意識の醸成が図れればと考えています。

★委員からの声



本堂 晴生 委員 「学んで育つ」を応援します」

子どもたちの「学んで育つ」を応援したいと思います。

世界の国々や社会、そして人々のありようがどんどん変わっていています。20年後には社会の中核になっている今の子どもたちが、自分で考え自分で決め、そして新しいなにかを創る、そういうことができるように。

今子どもたちが、自分とちがう人間であるまわりの友だちや先生、家族、地域の人の「ちがい」からいっしょに学び合い、自分だけの自分になれるように。

私もいろいろな人と話をしたり、いっしょに新しいことを作ったり、できるだけするようがんばっています。子どもたちといっしょにがんばりたいと思います。



橋本 千代子 委員 「あなたの目は開いていますか」

私には目が二つしかありません。もし、もう一つ目があるとしたら、それは心にあると思います。その目が開いていれば、今の私達に何が必要か、コロナ禍の世界に何が欠けているのかが分かると思います。

ある日のテレビ「おはよう日本」で面白い特番をやっていました。その特番では、イタリアのそれぞれの家庭のベランダに、[虹]（「虹」とは離れていてもきつとうまくいくという意味だそうです）の大きな横断幕が張ってあると伝えていました。また、オランダでは、コロナの自粛生活の中で「あなたは何をしていましたか。」という質問に、「気持ちよく[ニクセン]（「ニクセン」とは何もしない、ボーッとしているという意味だそうです）をしていました。」と答えた人がいました。これらのことから学ぶことは、何でしょうか。

あなたの心の目は、開いていますか。人は、今、同じような苦しみの中にありますが、私達には、お互いを助け合う思いやりの心があります。皆で助け合えれば、苦しみを乗り越えられるはずです。コロナと共に生きてゆく為に、自分のやりがい、人とのつながりを持ち続けることの大切さを思います。

心の目を開いて、やりがいとは何か、人とのつながりとは何かを、探したいと思います。